

作業療法臨床の知

～個人的体験の中にある普遍性～

植物を育て、暮らしに花と緑があり
音と音楽があり
日々作業を営み、それぞれの人生を紡ぐ
生まれ、遊び、育ち、学び、働き、育て、老い
それぞれの生の中で
特別なものではない、平凡で豊かな日常をひとは生きている
作業をもちいる療法は
そうした生活にとって意味と目的のある作業を
治療や援助・支援に用いてきた

しかし、その豊かな日常性ゆえに
科学性がないという批判もうけてきた

第2回「ひとと作業・生活」研究会学術集会では
事例を通して、科学的思考だけでは捉えることができない
豊かな臨床とその本質を
みなさんと共に探求したいと思います

研究会主宰 山根 寛



【講師】

- 岩崎 清隆 (作業療法士, NPO法人ふねうま群馬)
浅海 奈津美 (作業療法士, JICA senior volunteer Thailand)
澤田 みどり (園芸療法士, 日本園芸療法研修会代表理事)
三宅 聖子 (音楽療法士, NPO法人ミュージックasパレット)
山根 寛 (作業療法士, 「ひとと作業・生活」研究会主宰)

日 時：平成30年12月1日(土) 13:00～18:00

12月2日(日) 9:00～12:30

会 場：みやこめっせ 大会議室 (京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1)

参加費：6,000円 (学生2,000円)

※1日のみの参加は4,000円 (学生1,000円)

申込み：所属, 氏名を明記の上メールにて申し込みください

E-mail: ziziyama.shol@gmail.com (事務局: 白岩圭悟, 庄治なつみ)

第2回 「ひとと作業・生活」研究会 学術集会

(＊スケジュールは検討中のため変更することがあります)

【テーマ】

作業療法臨床の知 ～個人的体験の中にある普遍性～

【日時】

平成30年12月1日(土) 13:00～18:00 , 12月2日(日) 9:00～12:30

【会場】

京都市勧業館 みやこめっせ 大会議室 (京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1)

【スケジュール】

12月1日(土)

- 12:30 受付開始
- 13:00～14:00 「目の前の利用者さんに向き合う臨床の知 ～子どもの場合～」
岩崎 清隆 (作業療法士, NPO法人ぶねうま群馬)
- 14:00～15:00 「老い入門 個人的体験より」
浅海 奈津美 (作業療法士, JICA senior volunteer Thailand)
- 15:00～16:00 「私の個人的体験 ～園芸療法の場合～」
澤田 みどり (園芸療法士, 日本園芸療法研修会代表理事)
- 16:00～17:00 「私の個人的体験 ～音楽療法～」
三宅 聖子 (音楽療法士, ミュージックasパレット)
- 17:00～18:00 「私の個人的体験 ～作業療法の場合～」
山根 寛 (「ひとと作業・生活」研究会 主宰)

12月2日(日)

- 9:00～10:30 シンポジウム「臨床の知～個人的体験の中にある普遍性～」
岩崎 清隆
浅海 奈津美
三宅 聖子
山根 寛
- 10:40～12:10 「作業療法臨床の知(仮)」
山根 寛 (「ひとと作業・生活」研究会 主宰)
- 12:10～12:30 質疑応答, 終了

【参加費】

6,000円(学生2,000円) ※1日のみの参加は4,000円(学生1,000円)

【お申込み・お問い合わせ】

氏名・所属を明記の上, 事前にメールにてお申し込み下さい. なお, 参加に際して職種は問いません. ※ 11月17(金)締め切り

申込アドレス : ziziyama.shol@gmail.com (事務局:白岩圭悟, 庄治なつみ)

第2回 「ひとと作業・生活」研究会 学術集会

【日時】

平成30年12月1日(土) 13:00~18:00 , 12月2日(日) 9:00~12:30

【会場】

京都市勧業館 みやこめっせ 大会議室 (京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1)

【講師略歴】

岩崎清隆

上智大学文学部哲学科卒業(1971), 上智大学大学院哲学研究科修了(1973)
アメリカ・ピュージェット・サウンド大学大学院作業療法学研究科卒業(1985),
国際医療福祉大学 保健医療学専攻博士課程 満期退学(2006),
希望の家療育病院リハ課勤務(1978-1993),
群馬大学医学部保健学科(1993-2012)



浅海奈津美

1978年都立府中リハビリテーション専門学校作業療法科卒業。
作業療法士として日本鋼管病院、東京都老人医療センター、東京都リハビリテーション病院、渋谷区あやめの苑代々木などに勤務。
1996年立教大学大学院社会学研究科修士課程修了。
2000年北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科攻専任講師。
2013年よりJICA日系社会シニアボランティアとしてパラグアイの高齢者支援、
2016年よりJICA海外シニアボランティアとしてタイのチェンマイ大学医療技術学部作業療法学科にて活動



澤田みどり

1989年日本人として初めて、園芸療法を学ぶためにアメリカへ2年間留学。
当時のアメリカ園芸療法協会会長の下研修。帰国後、執筆、講演で園芸療法を紹介するとともに東京都内の障害者作業所「赤い屋根」にて園芸療法を試みる。
1995年園芸療法実践者育成と全国のネットワークづくりを目指し、日本園芸療法研修会を設立。日本で最初の社会人向け園芸療法実践者養成講座を開催し、現在23期生が受講中。会員は全国に約220名おり、半数以上が全国の福祉施設や医療機関等で実践活動を展開中。



三宅聖子

大阪音楽大学短期大学部を卒業。大学時代よりJAZZオルガンのコンサートやイベント活動、創作ミュージカルによる発達支援指導者養成に携わり、ダウン症や自閉症の子どもたちとの出会いから音楽療法の世界に入る。2001年より多摩リハビリテーション学院音楽療法研究科主任教員。2008年より渋谷区障害者福祉センター副施設長および音楽療法士として、知的障害、身体障害、児童発達支援に携わる。コロラド州立大学神経学的音楽療法国際研修で学び、日本音楽療法学会認定音楽療法士、コロラド州立大学神経学的音楽療法フェロー資格を取得。



【参加費】

6,000円(学生2,000円) ※1日のみの参加は4,000円(学生1,000円)

【お申込み・お問い合わせ】

氏名・所属を明記の上、事前にメールにてお申し込み下さい。なお、参加に際して職種は問いません。 ※ 11月17(金)締め切り

申込アドレス : ziziyama.shol@gmail.com (事務局:白岩圭悟, 庄治なつみ)